

つがゆき隣保館だより

令和6年
7月号

都賀行隣保館

TEL (82) 2679
FAX (74) 2121

フクッと人権講座

「おかしいことにはわきまをえない、面倒くさい、うるさい人になる」

地方の人口減少が止まらない状況が続いているとの報道をよく見かけます。特に若い女性が地方に定住しない傾向があるようです。若い女性が地元に残らず都会に出ていく理由が色々あげられていますが、その一つに地方に残っている「習わし」、「しきたり」などもあるようです。

例えば 集落内の寄り会合などにおいて、男性が上座、女性が下座に座ることが「暗黙の了解」になっている。あるいは地元のイベントなどにおいて「食事をつくり、食事中の世話、食後の片付け」を女性が当然のように行う習慣等々、女性が首をかしげたくなくなるようなこともまだまだ残っていることも多くありそうです。

このようなことに関して、先日の新聞に興味深いコラムが載っていました。それは大田市において講演された社会学者の上野千鶴子さんが話されたことに関するものでした。「職場でお茶くみは現在あまり見かけない光景ですがそれは先輩女性が「職場で浮いて、嫌がられながら」何で私たちがしなくちゃいけないの」と言った先人たちがいたから変わったのだと、「セクハラ」の不法行為此、「学校での男女混合名簿や家庭科の男女共修の実現」などは先人の女性たちが声をあげたまものであると上野さんは言われています。

上野さんは次のようにも言っておられます。

「被害者で居続けることは、次の誰かにとつて加害者になっていく。このコラムでは『おかしいことにはわきまをえない、面倒くさい、うるさい人になる』と書いてあります。

ここで、地域で聞いたエピソードを紹介しておきます。それはある地域で懇親会があり、終了後、片付けが始まった時、ある人が「片付けは女房を呼んで片付けてもらうからいいよ」と言われたそうです。

この話を聞いた男性の一人が「女房を呼ばなくても自分たちで片付けたいじゃないか。自分たちが飲食したものを誰かにやってもらうような会なら、自分はやめさせてもらうよ」と声をあげられたようです。

その後、この地域ではこの声をきつかけに、地域の懇親会の片付けは男性も一緒にするようになったとのこと。

これは『おかしい』と思う慣習が誰かの一言で変わった好例です。

「沈黙は金」という格言がありますが、しかし、これも「時によりけり」で『誰も暮らしやすい社会を実現するためには勇気をもって』声をあげることも大事だと思います。皆さんはどのように思われるでしょうか。

県内研修参加者募集!!

浜田方面(大元神楽伝承館、國の國、桑の実工房)へ研修に行きます。郷土芸能である神楽の衣装や面、紙すきの見学をしながら参加者同士の交流を持つことを目的として計画しています。八時四十五分に出発し、帰りは三時頃を予定しています。

※参加をご希望の方は、隣保館までご連絡ください!!

☆参加費 2000円 (昼食代、一日保険、他)

☆申し込み〆切 七月二十九日(月)

お願い

大和小5・6年生と地域の方が作った『フラワーパーク』を多くの方に見ていただくため、さらに綺麗な花壇になればと思います。花壇の近くに『芝桜』を植えることを計画しています。そこで、芝桜を少し分けていただけの方がおられましたら、大変喜びます。隣保館までご連絡ください。

8月の予定

- 2日(金) 町外研修(浜田方面)
- 5日(月) スマホ教室
- 7日(水) 水玉長寿クラブ
- 8日(木) ニコニコ健康教室
俳句教室
喜楽会
- 9日(金) 神楽面作り教室
- 13日(火) フラワーアレンジメント教室
- 14日(水) 絵手紙ボランティア
- 17日(土) 習字教室
- 22日(木) ニコニコ健康教室
森林教室
- 23日(金) 切り絵教室



相談事業

自分のこと、家族のこと、ご近所のことなど、悩みごとはありませんか。「人には言えない」でも誰かに聞いてほしい!!「どこへ相談すればいいの?」と思われたら隣保館へご相談ください。不安に寄り添い、問題解決のためのお手伝いをします。他の機関とも連携していますので、安心してお越しください。訪問相談や電話でのご相談も受け付けております。



フラワーパーク草取り 7月5日(金)

大和小5・6年生が花壇の草取りをしました。花植えから約一ヶ月が経ち、花が埋もれるほど長い草がびっしりと生えていました。

当日はじっとしていても汗が流れる程の猛暑日だったので、手早く作業することを優先に、みんな協力して作業をすることができました。草がなくなったことで花が元気に見え、いきいきと大きく見えるようになりました。近くを通られる際はぜひご覧になってください。(今回は七月二十九日に大和小中学校の先生方に草取りをしていただきます。)



災害時にも役立つ!! かまどでご飯炊き!!

都賀本郷の野村祥子さんに教えていただきながら、かまどでご飯を炊きました。(六月二十六日)

泡の出方を見たり、炊ける時の音を聞いて火の調節をする炊き方のコツを覚えていただきました。「次は飯ごうや竹筒でご飯を炊いてみたい」など提案がある程、薪で調理する魅力と炊き上がりのご飯のおいしさに感動でした。火の加減を覚え、参加者全員が一人でもかまどでご飯を炊くことができるよう頑張りたいと思います。



隣保館のホール入口に梅原信子さん所有の本の中から梅原さんおすすめの絵本を毎月4・5冊展示しています。多様な戦象平和などわかりやすく楽しみながら学べる本になっていきますので、隣保館へ来られた際にはお手に取ってご覧ください。